

日光植物図鑑

その③ コウシンソウ

【和名】 コウシンソウ (庚申草)
【別名】 —
【学名】 *Pinguicula ramosa* Miyoshi
【科名】 タヌキモ科 Lentibulariaceae

2001年6月撮影



旧足尾町では町の花に指定されていたコウシンソウ。常に霧が立ち込め、夏でも気温が25度を上回ることはないような、標高1,200m～2,200m付近の垂直な崖に生育します。生育環境が特殊なため、日光連山と群馬県の一部でのみ確認されている、たいへん珍しい植物です。

日本固有の植物で、茎の高さ3cmから10cm程度のタヌキモ科ムシトリスミレ属の食虫植物です。葉や花茎から粘液を分泌し、そこに張り付いた小さな虫を消化吸収して栄養分にします。6月から7月にかけて淡紫色の花をつけ、花が終わると花茎を伸ばして反り返り、自分より高い位置の岩壁に種子を押しつけます。

1890年、足尾地域の庚申山ではじめて発見されました。和名は山の名前が由来となっています。環境省の作成したレッドデータブックには絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している生物)として掲載されており、庚申山の自生地は国の特別天然記念物に指定されています。

一喜一憂

新市の誕生から3か月。新しい広報紙の作成に追われた怒とうの日々も、ようやく落ち着きを取り戻しつつあります。プライベートでも「夏休みには海にでも行こうか」と考える余裕が出てきました。

そこで気になり始めたのが、すっかり實録のついでにしまったお腹です。仕事の忙しさにかまけて運動を怠る一方で、毎日の晩酌は欠かさずにこなした結果、大

量の脂肪を蓄えるにいたりました。

妻が「お父さんは太ってる？」と問いかけると、3歳の娘は「ヤリと笑ってから「太ってない」と答えます。本音と建前を使い分けるようになったわが子の言葉が嬉しくもあり、悲しくもあり…。「取材で走り回って、絶対にスリムなお父さんを見せてやるからな」と思ったものの、「ビールのおいしいこれからの季節。今日も晩酌はやめられそうにありません。(苦笑)

7月の休日当番医

2日(日)	☎獨協医大日光医療センター ☎山川歯科医院	☎76-1515 ☎22-6263
9日(日)	☎川上病院 ☎近藤歯科医院	☎22-2311 ☎26-6620
16日(日)	☎森病院 ☎福田歯科医院	☎22-1024 ☎22-1335
17日(月) 海の日	☎森病院 ☎森田歯科医院	☎22-1024 ☎30-3113
23日(日)	☎今市病院 ☎鈴木歯科クリニック	☎22-2200 ☎26-5566
30日(日)	☎獨協医大日光医療センター ☎小林歯科医院	☎76-1515 ☎22-0303

※☎は医科、☎は歯科の休日当番医です。
※日曜日や祝日、振替休日に、今市保健福祉センター内で休日急患こども診療所(☎30-7299)を開設しています。